

今回の留学を通して、自分の意見を持つことの大切さを学びました。また、語学勉強のモチベーション向上や自分の将来について考えることができました。

工学部 情報工学科 3年 山影佳成子さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ ペンシルベニア大学

大学入学時、留学したいとは思っていたもののコロナウイルスによる渡航制限や渡航への心配が勝ってしまい留学できないまま3年生になってしまい、4年になると就活、研究室でより忙しくなると思い、行くなら今だ！！と思いついて参加を決意しました。ペンシルベニア大学を選択した理由としては、大学のレベルが高いので短い期間でもよりレベルの高い留学の経験を得たいと考えたからです。また、ペンシルベニア大学だけ、アパートメントステイ（寮生活）だったことも大きかったです。ホームステイと違い、多くの同世代の人を交流できる思ったのも選択の理由の一つとなりました。

滞在期間中は、毎日8時半から授業があり慣れるまで大変でしたが慣れてからは朝早く自分で朝ごはんを作ったりして楽しんでいました。授業では、ポジティブ心理学、リーダーシップ、そしてアメリカの文化や移民について学びました。授業内では、アクティブラーニングで物事に対して自分の意見、考えを英語で簡潔に話すということを多く行いました。また、フィールドワークを行い、アメリカの文化や移民政策について直接アメリカ人に意見を聞き調査を行いました。その調査では、私たちと同世代の若い人でも、文化や政策に対して自分の意見を持っていることに驚きました。さらに、英語でのプレゼンテーションを行いました。英語でプレゼンの枠組みをきめ、文章を考え、またジェスチャーを用いて発表をするということは本当にハードで簡単にはいきませんでした。自分自身にとってとても良い経験になったと思います。滞在先では、同じフロアを使っている学生と仲良くなって一緒にご飯を食べたり、自分の好きなことについて話したり、積極的に会話をするようにしていたので多くの友人を作ることができました。

短期間のプログラムでしたが、毎日がとても充実しており多くのことを体験することができました。自分の意見を持つこと、それを話すことの大切さが自分のなか今回一番学ぶことができた点だと思っています。また、文化や国籍に限らず多くの友人を作ることができました。自分の将来設計についても意識が変化しましたし、目標もできました。

留学を迷っている人がいたら、絶対に行くべきです！！また留学するなら早いうちにしていたほうがいいと思います！留学前と留学後で、自分の考えや目標も変わりますよ！！